

授業科目名	チェンバロ演奏研究 I～IV [院]	担当形態	実技		
		開講学期	春・秋		
担当教員	実技担当教員	単位	2	年次	1, 2

＝授業のテーマ及び到達目標＝

4年間の学部で学んだチェンバロ実技をさらに発展させる。

まだ知らないレパートリー（古典に限らず、20世紀以降のチェンバロ作品等・・・各々が求める作品）を増やし、よりチェンバロの「美しい音色」を極める。

＝履修の条件と学習の方法＝

チェンバロを熟知した者が履修。

おもにチェンバロ演奏の実践を学習の方法とする。

＝授業の概要＝

＝授業計画＝

（1年次）

1期 個々の必要とするレパートリーを拡大していく。例えば、チェンバロ協奏曲（18世紀）や大曲（ゴルトベルク変奏曲等）。

2期 個々の必要とするレパートリーを拡大していく。例えば、チェンバロ協奏曲（18世紀）や大曲（ゴルトベルク変奏曲等）。

（2年次）

3期 個々の必要とするレパートリーを拡大していく。例えば、20世紀のチェンバロ作品をレッスン。F. プーランク「田園のコンセール」やファリャ、マルタン&武満等の作品を題材に。

4期 個々の必要とするレパートリーを拡大していく。例えば、20世紀のチェンバロ作品をレッスン。F. プーランク「田園のコンセール」やファリャ、マルタン&武満等の作品を題材に。

＝テキスト（必携）＝

特になし

＝参考書・参考資料（必携）＝

特になし

＝成績評価の方法と評価の基準＝

レッスンへの積極性、演奏研究に対する技術・表現力の修得状況など総合的に判断し、担当教員が評価する。

＝その他＝